

日本学術会議

政治学委員会比較政治分科会（第24期・第4回）議事要旨

開催日時 2018年10月4日（木）16時30分～20時40分

開催場所 国際文化会館アネックス・セミナールームD

出席者 眞柄秀子、小川有美、大串和雄、加藤淳子、磯崎典世、羽場久美子、高橋百合子、藤井篤の8名。

議事概要

1. 比較政治分科会の今期活動について

2019年度の日本比較政治学会で「自由民主主義の退行」（仮題）をテーマとするパネルを学術会議と学会の共同企画として開催することが大串委員より提案され、その方向で企画応募を準備することが承認された。

2. 総会・部会での重要テーマについて

眞柄委員長より、政府が現在急速に進めようとしている大学改革に関する学術会議の総会および第一部会での議論が紹介され、これを踏まえて人文社会系の学問業績の評価のあり方などについて審議を行った。

3. その他

眞柄委員長より、公共教育を進める上でアクティブ・ラーニングの適切なテーマを提案してほしい旨の要請があった。

4. 次回分科会開催日程について

次回分科会会議は2019年春の社会的投資をめぐるシンポジウムの開催に合わせて開かれることになった。

5. 参考人報告

社会的投資政策研究小委員会の大沢真知子委員（日本女子大学教授）の報告「人的資本形成とジェンダー革命」を聴き、その後質疑討論を行った。